

博士学位論文審査報告書

Summary of Doctoral Thesis and Report of Examination

研究科長 殿

下記のとおり、審査結果を報告します。

To the Dean:

We report the result of Examination for the Doctoral Thesis below.

学籍番号 Student I.D. No.: 4008 S 318-7-

学生氏名 Name: 林亦府

和文題名 Title in Japanese: 社会資本と中国東北農村基層幹部の職業流動性

英文題名 Title in English: Social Capital and Career Mobility of Grassroots Officials in Rural Northeast China

記

1. 口述試験参加教員 Faculty Members Involved in Oral Examination

①審査委員会主査 Chief Referee of the Screening Committee

氏名 Name: 天児慧 印

所属 Affiliated Institution: 早稲田大学アジア太平洋研究科

資格 Status: 教授

博士学位名・取得大学名: Ph.D. Title Earned・Name of Institution

社会学博士（一橋大学）

②副査（審査委員 1）Deputy Advisor (Member of Screening Committee 1)

氏名 Name: 園田茂人 印

所属 Affiliated Institution: 東京大学

資格 Status: 教授

博士学位名・取得大学名: Ph.D. Title Earned・Name of Institution

③審査委員 2 Member of Screening Committee 2

氏名 Name: ファーラー・グラシア 印

所属 Affiliated Institution: 早稲田大学アジア太平洋研究科

資格 Status: 准教授

博士学位名・取得大学名: Ph.D. Title Earned・Name of Institution

PhD シカゴ大学

④審査委員 3 Member of Screening Committee 3

氏名 Name: 阿古智子 印

所属 Affiliated Institution: 国際学術院

資格 Status: 准教授

博士学位名・取得大学名: Ph.D. Title Earned・Name of Institution

PhD 香港大学

2. 開催日時 Date / Time: (Y)2011 / (M) 5 / (D) 18 (Time) 2時限 ~ 2時限

[時限 / Period] 1st: 9:00-10:30, 2nd: 10:40-12:10, 3rd: 13:00-14:30, 4th: 14:45-16:15, 5th: 16:30-18:00, 6th: 18:15-19:45, 7th: 20:00-21:30

3. 会場 Venue: 19号館 310

4. 合否判定 Result: ☒ Passed / ☐ Failed (該当する方に○ Circle as appropriate)

5. 添付資料 Attached document(s)

4枚pages (和文4,000字程度、もしくは英文1,500語程度。ただし、論文題目のみは、和文・英文を併記すること)

(Approximately 4,000 characters in Japanese, or 1,500 words in English. The Doctoral Thesis title, however, must be written in both Japanese and English.)

博士学位請求論文審査報告書

氏 名：林亦府

学籍番号：4009S318-7

題名 Title : Social Capital and Career Mobility of Grassroots Officials in
Rural Northeast China

社会資本と基層幹部の職業流動性——中国東北農村を事例に——

一、概要

本研究は、中国東北農村の基層幹部の昇進における社会的資本の重要性を解明しようとしたものである。リサーチクエスションとしては、社会的資本は農村の基層幹部レベルでどのように影響を及ぼしているかという点であった。そして筆者は、東北地方の農村で行った調査データを用い、鎮レベルの幹部の昇進に関する人的資本と社会的資本の比較調査と比較分析を行った。さらに、村レベルの権力構造における基層幹部の調査・分析も行った。本研究は徹底した実証的手法によって社会的資本（血族や姻族、擬似血縁関係）の重要性を強調し、さらにその理論化を試みることによって中国の政治的エリート研究において、一定の理論的モデルを提供するといった貢献をなした。

本論文の構成は以下のとおりである。

論文構成

| | |
|--|----|
| Chapter One Introduction | 1 |
| I. The Question | 1 |
| II. The Argument | 4 |
| III Definitions of Key Concepts | 7 |
| IV. Data and Methodology | 10 |
| V. Organization of Dissertation | 17 |
| Chapter Two Literature Review and Analytical Framework | 19 |
| I. Introduction | 19 |
| II. Literature Review | 19 |

| | |
|---|------------|
| III. Career Mobility of Political Elites: Network Perspective..... | 35 |
| Chapter Three F Township: Background of the Field Site..... | 53 |
| I. Geographical Location and Brief History..... | 54 |
| II. Political Institutions..... | 57 |
| III. Economic Development | 63 |
| IV. Social Changes | 68 |
| V. Conclusion | 70 |
| Chapter Four Political Elite at Township Level | 73 |
| I. Introduction..... | 73 |
| II. Chinese Government in General | 73 |
| III. Township Government..... | 74 |
| IV. Typology of F Township Government Cadres..... | 79 |
| V. Institutional Analysis | 117 |
| VI. Conclusion | 134 |
| Chapter Five Political Elite at Village Level..... | 139 |
| I. Introduction | 139 |
| II. Village Government | 139 |
| III. Typology of Village Government Cadres | 141 |
| IV. Upward Mobility of Village Cadres | 160 |
| V. Institutional Analysis..... | 167 |
| VI. Conclusion | 172 |
| Chapter Six Conclusion..... | 175 |
| I. Patterns of Career Mobility of Grassroots Political Elites..... | 175 |
| II. Contribution to Understanding Career Mobility and Institutional Changes: Interactions between Institutional Factors..... | 176 |
| III. Contributions to Chinese Elites Studies..... | 178 |
| IV. Contributions to the Study of Social Networks in Sociology..... | 181 |
| V. Implications for Chinese Political Development and Policy-making..... | 182 |
| VI. Limitation and Future Research Agenda..... | 191 |
| BIBLIOGRAPHY | 195 |
| APPENDIX | 203 |

二、各章の説明

第1章では、筆者は、まず上記のリサーチクエスションを提示した。続いて本研究テーマをめぐる研究背景を概観し、それを踏まえて問題に対する幾つかの論点を提示した。さらに本論で扱われる主要な用語の概念も定義し、また本研究の研究方法与フィードワーク

の地域の選定の理由、当地域の民族誌的な特徴、得られた情報の根拠・背景なども説明した。

第2章では、本研究に関わる先行研究、とくに政治エリートについての先行研究、およびそこから導かれるさまざまな論点を紹介した。さらに分析のフレームワークについて、筆者は2つの特別な視点、つまり社会構造とネットワークを軸にした分析アプローチを提示している。

第3章では、フィールド調査の対象とした、F 鎮 (Township) について、その地理位置及び歴史について簡単なレビューを行い、その上で、当地の政治制度、経済発展、社会構成などについても論じている。これらによって、研究対象とする F 鎮の歴史的、政治的、経済的な背景、および当地のコミュニティの社会的な特徴を描き出した。

第4章では、中国共産党および中国の政府制度を概略した上で、鎮政府の特徴について、政府制度における鎮の位置づけ、および基層幹部の昇進のロードマップを含めて説明している。続いて、F 鎮の幹部について社会資本と人的資本の有無を判断基準しながら、それらの類型的な分析を行った。さらに詳しい事例分析も行い、なぜ社会資本は基層幹部たちのキャリアにとって重要なのかについての考察を行っている。

第5章では、村政府の幹部を対象として考察している。彼らの基本的な特徴を中国の政府制度から論じたうえで、村政府の基本的な構造を整理し、続いて F 鎮における 12 カ所の村の権力関係について分析している。中国の華南地域あるいは北京近郊の村と比べて、F 鎮の村、さらには一般的に中国東北地方の村には、独自の権力関係が見られる。この点を筆者は F 鎮の 12 の村の党支部書記への詳細なインタビューを通して具体的に明らかにすることを試みた。彼らのリーダーシップと権威をめぐり、類型的な分析が試みられている。そして、なぜ人的資本が村レベル幹部のキャリアの流動性にとって意味があるのかという問題を考察した。

第6章は、本論文の結論である。ここでは上記調査に基づく実例研究の結論および社会学における中国エリート研究と社会ネットワーク研究への貢献、さらには本研究が中国基層レベルにおける政治発展と政策決定過程などの分析における一定の貢献の可能性を論じたうえで、最後に本研究の不足的な部分、将来の研究課題について論じている。

三、評価と問題点

本論文は、以下のようないくつかの点で評価されるべき特徴を持っている。第1に、1つの鎮でこれだけ詳細に社会関係資本のありかたを検討し、基層幹部の昇進に与える人的資本や社会関係資本の与える影響を詳細に検討した点は特筆すべきである。類似した研究でもこれほど深く基層幹部の内部に入った研究は極めて少ない。第2に、一般的にこのような研究は人類学的研究の枠組みに縛られ、政治＝社会学的考察にまで達しないのだが、本論文では理論との整合もよく考察されており、鎮や村における権力の（再）生産を考える際に重要な示唆が多く提示されている。第3に、「関係」を論じる際には、インタビュー

の「裏をとる」など細心の注意が必要だが、そのあたりは非常に手慣れており、当地の出身者でなければ得られないビビッドな情報が多く集められている。第4に、本論文は、中国の政治制度、文化、地方の経済的發展を考慮して、中国の東北農村の基層幹部の昇進における社会的資本の重要性を解明するための理論的モデルを試論的に提供することができた。

しかしながら、幾つかの点で本論文に対する問題点も指摘された。まず第1に、本論文が政治（社会）学に焦点を当てていたために仕方ない部分でもあるが、基層の（政治）文化を紹介する際に利用している文献が少なく、説明が浅くなりがちである。中国の文化、宗族関係が社会資本の中で最も重要である点の説明が十分でない。（特に「差序格局」や「義文化」が自明であるかのように利用されていた点は問題）。日本語におけるこうした研究の成果、例えば聶莉莉の『劉堡』など重要研究書などがあるのだが、これへの言及がなく、もう少し厚みのある説明が欲しいところであった。第2に「関係」の重要な要素である fictive kinship ties の説明が少なく、どのような条件でこれが「関係」として機能するかがわからないことには、どのようにネットワークが出来上がったか／維持されているが十分に説明されていない。第3に、多くの図表が作成され提示されているが、それらがある場合に唐突に出され、本論とどのような位置関係にあるかがきちっと明確になされていないために、理解することがいささか苦しくなる部分もあった。

四、結論

上記のように幾つかの課題は残されているものの、鎮レベルの幹部の昇進に関しては、人的資源よりも社会的資本がより重要であることを解明したこと、さらに村レベルの場合には、村の権力構造における一番の地位を獲得し、維持するためには、人的資本が社会的資本よりも重要であるというきわめて新鮮な分析と解釈が行われた。それは中国の政治的エリートの昇進に関する研究において、従来の研究では人的資本や政治的資本を強調したアプローチが強調される傾向が強いなかで、徹底した実証的手法によって社会的資本（血族や姻族、擬似血縁関係）の重要性を強調した学術的に十分意義のあるオリジナリティといえるものである。さらにそれを理論化することを試みることによって、一定の理論的モデルを提供するようになっていえると言えよう。本論文は、突出するほどの新しいチャレンジングな研究とはいえないものの、論文として必要不可欠な作法は守っており、特に実証データには興味深い知見が散見される。

以上のようにその問題設定、分析アプローチ、実証的な考察のプロセス、結論などにおいて博士学位論文の基準を十分に満たしている。論文審査委員会一致しては博士学位に値すると判断し、博士の学位授与を提案する。

2011年5月18日

博士学位申請論文審査委員会